



□をつぐんで 鳴きません

1月6日は、寒の入り“小寒”です。21日が“大寒”。これからが寒さの本番です。しかし、日本よりも北方に位置するシベリアでは寒さをもっともっと厳しく、1月の平均気温がマイナス50度になる村もあります。そんな厳しい寒さから逃れるために、日本へ飛来してくるのが冬鳥です。

右の写真の鳥は、冬鳥の代表選手「ツグミ」です。大きさはおよそ24cm。毎年10月ごろ、シベリアから群れをなして日本に渡ってきます。日本に着くと群れを解き、積雪が少ない地方の水田や畑、河原などで虫や木の実をついばみます。その様子はまるで「だるまさんが転んだ」遊びをしているようで、小走りに歩いてはピタッ！と止まる独特な歩き方をします。

4月ごろになると「クィクィ、キョキョ」とさえずりながら、再び群れをなして北方に帰っていきます。日本に飛来してから帰るまで、□をつぐんでほとんど鳴かないので「ツグミ」という名前が付きしました。

以前は、「かすみ網」と呼ばれる罠で一網打尽にされていた、かわいそうな野鳥です。



森の日記

木橋修繕間近

陶史の森の遊歩道には、細い沢を渡る木製の橋があちこちにあります。そのうちの2カ所の橋が朽果てて「通行止め」となっています。

やっと修繕のめどが立ち、職員全員で新しい木橋を設置する準備をしています。全て手作業、人力で行っています。なんとか今年度中には完成し、通行止めを解除する予定です。



教室のご案内

1月

バードウォッチング（自由参加、雨天中止）

1月24日(日) 午前9時～11時30分

真冬の野鳥を観察します。

2月

バードウォッチング（自由参加、雨天中止）

2月21日(日) 午前9時～11時30分

真冬の野鳥を観察します。

冬季は木々の葉っぱが落ちているので、野鳥を観察するにはベストシーズンといえます。ご希望の方に双眼鏡や野鳥図鑑を無料で貸し出しています。気軽に声を掛けてください。また、良く晴れた日は展望台からの景色も抜群。陶史の森に、ぜひお越しください。

